

柏市民活動ニュースレター

2026年3月発行 第40号

柏市民活動センター（現・市民活動サポートコーナー）は今年10月で20周年を迎えます。

- ◇ 市民活動団体やボランティアの情報交換・交流の場として、平成18年（2006年）10月にJR柏駅東口の駅前通りに「柏市民活動センター」が開設されて、今年10月に20周年を迎えます。
- ◇ その10年後、平成28年（2016年）5月に開設されたパレット柏に「市民活動サポートコーナー」としてセンター機能を移転して、今年5月で10周年になります。
- ◇ 当センターに登録している市民公益活動団体の数は、平成18年の約70団体から、令和8年（2026年）には約410団体に増加しており、柏市の市民活動は年々多様で多彩に繰り広げられるようになりました。
- ◇ このセンター開設20周年を機に、パレット柏の「市民活動サポートコーナー」を拠点とした市民活動が益々盛んになっていくことを期待しています。



旧・柏市民活動センター



現・市民活動サポートコーナー

<目次>

巻頭	・・・1
令和8年度 たまご補助金交付団体	・・・2
令和8年度 愛らぶ基金交付団体	・・・3
協働まちづくりサロン「市民活動団体がつくる地域デジタル教材 協働まちづくり提案制度「こどもの居場所づくりフォーラム及び勉強会」	・・・4
市民活動コーディネーター講座	・・・5
たまご補助金団体の活動紹介	・・・6
常磐線沿線地区市民活動センター等交流会	・・・7
サポートコーナーからのお知らせ	・・・8

たまご
補助金
交付団体

令和8年度 柏市民公益活動育成補助金 (たまご補助金) 交付団体の紹介

柏市では、設立間もない団体に重点を置き、団体が自主的・自発的に活動を行うための財政的支援制度「柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)」を設置し、交付終了後も活動資金を集め、活動を継続できる団体を育成することを目的とし、補助金を交付しています。

このたび、令和8年度柏市民公益活動育成補助金(たまご補助金)の審査会において、交付団体候補として以下の5団体が選定され、今後必要な手続きを経て正式に決定します。

交付団体は1年間を通じて、市民活動サポートコーナーの伴走支援のもと活動を行っていきます。皆さん、ぜひご声援&ご注目をお願いします！

令和8年度 たまご補助金 交付団体

学術
文化

青森ねぶた祭
文化振興会

(事業名)

市民企画によるねぶた祭の開催

まち
づくり

かしわ動物福祉・
共生協会

(事業名)

柏市のペット防災と
適正飼育啓発事業

子ども
健全育成

運動発達アカデミー
親子クラス

(事業名)

運動遊び教室

社会
教育

Kashiwa
共育 Labo

(事業名)

柏子ども企業塾

子ども
健全育成

NPO 法人 Seeding

(事業名)

情報発信サイトの構築
～支援や相談情報にアクセスできる
地域の仕組み作り～



※交付団体は、審査会にて応募事業の①ニーズ・公益性、②具体性・実効性、③発展性、④経費精算の適正性を判断し、決定します



Q.たまご補助金の交付団体は、1年間でどんなことをするの??

A. 交付団体はたまご補助金を活用し、採択された事業を1年間行います。交付の要件としてポスター展・成果報告会など定められた各会への参加や書類の作成と提出などを行います。そして柏市・市民活動サポートコーナーと連携を図りながら活動を行い、活動の継続できる自立した団体を目指します。

【交付団体1年間の流れ】
をご紹介!

【4月】
活動 START!



【通年】サポートコーナーとの連携

サポートコーナースタッフが伴走支援として、活動に関する様々な相談に
適宜応じます。また団体活動を取材し、広報誌にて紹介します!



【12月】中間検査

活動が計画通り進んでいるか?
サポートコーナーが領収書などを
確認します(書類作成・市へ報告)

【3月】実績報告

2月末までの活動実績と収支決算
額を報告します(書類作成・市へ報
告)

【翌年度4月】成果報告会&団体交流会

1年間の活動成果を発表します。また意見交換を行い、団体同士で
意見交換・交流会を行います(公開、一般傍聴可能)



【翌年4月】
活動 FINISH!

* 補助金制度や交付団体の詳細は、市民活動サポートコーナーまで *

令和8年度 柏市民公益活動支援補助金 (柏・愛らぶ基金) 交付団体の紹介

柏市民公益活動促進基金(柏・愛らぶ基金)は、市民の皆様からの寄附金を活用して柏市の市民公益活動を支援する制度です。



現在、保健福祉や環境など様々な分野の22団体が基金団体として登録しており、令和8年度は下記の11団体が団体応援寄附(支援補助金)を使って活動します。

【令和8年度 柏市民公益活動支援補助金・交付団体(※基金登録番号順)】

団体名	事業名称
1 NPO法人ちば里山トラスト	里山の整備・保全・活用・啓蒙普及等交流事業
2 柏自主夜間中学	義務教育課程の学びを求める人への通年学習会の継続と周知
3 特定非営利活動法人NPOこどもすべす柏	(特)NPOこどもすべす柏 親子舞台鑑賞会
4 特定非営利活動法人ホスピスケアを広める会	東葛地域で最期まで暮らすための患者・家族の支援事業
5 柏ジュニアストリングオーケストラ	KJSO音楽プロジェクト2026
6 認定NPO法人東葛市民後見人の会・柏支部	老後の安心講座
7 特定非営利活動法人ケアラーネットみちくさ	新たに認知症観の実現に向けての一步
8 柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)福祉会	柏市ひとり親(母子、父子、寡婦)家庭・支援事業
9 プチカル柏の葉	フレイル予防・高齢者の社会参加支援事業
10 特定非営利活動法人せっけんの街	リサイクルせっけんの普及・啓発を目的とした交流事業
11 一般社団法人セカンドライフファクトリー	元気シニアの地域参加機会創造&「社会貢献寿命」伸長



【ご報告】柏市内各所で基金 PR を行いました(令和7年度)



2025.10.1-16@パレット柏



2025.11.23@柏市民活動フリマぼかぼか市



柏・愛らぶ基金
詳細はこちら！

■柏市では、引き続き、柏・愛らぶ基金制度と登録団体の活動をPRしてまいります。ご支援お願いいたします。団体登録に関するお問合せは市民活動サポートコーナーまで！

第5回協働まちづくりサロン（12/20） 市民活動団体がつくる地域デジタル教材



美しい手賀沼を愛する市民の連合会（以下、美手連）が2022年度から取り組む、手賀沼に関する「デジタル教材づくり」について話題提供していただき意見交換しました。

美手連では、所属する市民活動団体が活動内容のデジタル教材を制作していますが、それを美手連のデジタル教材開発プロジェクトチームが総括して支援しており、現在14作品を公開しています。これらは柏市では柏市立図書館が

窓口となり小中学校に紹介されています。

学校で使用される教材制作は、内容の正確性だけでなく、学校のニーズ、子どもが理解しやすい表現、知的所有権など、解決すべき多くの課題があり難しく感じますが、市民活動団体には取り組む分野の専門性の高い知識や経験があり、地域の子どもたちのためにぜひ活用されるべきでしょう。

デジタル教材を制作するには、編集・制作のための技術的課題もありますが、美手連ではこれらをプロジェクトチームがサポートして解決しています。複数の団体が連携することで、難易度の高いプロジェクトを実現しているいい事例でもあります。



サロンの内容はグラフィックレコーディングで記録

令和7年度 協働まちづくり提案制度 こどもの居場所づくりフォーラム及び勉強会

令和7年度協働まちづくり提案制度では、こどもの居場所づくりフォーラム in かしわ実行委員会と、柏市教育委員会生涯学習課、子ども部子ども政策課、子育て支援課、子ども相談センターの4課が協働して「こどもの居場所づくりフォーラム及び勉強会事業」を実施しました。

本事業は、子ども・若者が主体的に自分らしく安心して過ごせる居場所づくりに必要なことを学ぶ「勉強会」と、より多くの市民に居場所づくりに欠かせない「こどもの権利」や「子ども・若者の声を聴く」ことを広く周知するための「こどもの居場所づくりフォーラム in かしわ」、そして、市職員が子ども・若者の声を聴き施策に反映するための取り組みを学ぶ「市職員研修」で構成されています。

子ども家庭庁が設立され、子ども大綱、子ども基本法が施行され3年になります。柏市でもさまざまな取り組みが実施されようとしているところでタイムリーな事業となりました。多様な子ども・若者のニーズに対応するには地域に多様な居場所が求められます。今後は市民活動団体と行政が連携して、多様な居場所が各地につくられることを期待したいと思います。



市民活動コーディネーター講座（全4回） ～多様な主体に寄り添い支援する人材の育成～



これからの柏のまちづくりでは、行政に任せきりにせず、地域課題やまちのビジョンを共有しつつ、行政を含む多様な主体と連携しながら問題解決に取り組む市民の活躍が期待されています。そのような人材の後押しをする講座が始まりました。選ばれた受講生は働き盛りの世代を中心にした8名の皆さん。毎回土曜日午後いっぱいを使って行われた4回の講座・ワークに食らいつきたくさん学んで最後には「自分が取り組みたい地域課題」について発表。市長名の修了証を受け取る笑顔が素敵でした。講座終了後の活動も企画。更に次年度も本講座は開講予定です。乞うご期待。

【第1回・11/22(土)13:30～17:00】 テーマ：コーディネーター概論

【講義テーマ】 地域で求められる「コーディネーター」とは/地域課題の理解と共有

【概要】 本講座の趣旨説明と導入。地域の全般的課題と目指すコーディネーター像について。初回時点での受講者の考える地域課題をワークを行う中で、書き出し、共有しました。

【第2回・12/27(土)13:30～17:00】 テーマ：コーディネーターの役割

【講義テーマ】 地域の多様な主体を知る/町会・自治会活動の実際

【概要】 地域で活動している多様な団体（NPO・ボランティア、町会・自治会・地区社協、その他コミュニティ・事業者・団体、行政・社協等）との関係、特に地縁組織を例に、そこで求められる役割を探究しました。「柏市地域協働を考える会」の実践事例の紹介とワークも。



【第3回・1/24(土)13:30～17:00】 テーマ：コーディネーションの技術

【講義テーマ】 伴走支援の方法/ファシリテーションの基礎

【概要】 当事者に寄り添いながら、その人との関係性の中で行われる伴走支援。支援する人/される人ではなく、対等な関係が目指されます。結果ではなく、プロセスをデザインするとはどういうことか。地域づくりは、課題解決よりも主体形成という気づきも。

【第4回・2/21(土)13:30～17:00】 テーマ：コーディネーターになろう

【講義テーマ】 ファシリテーション・ワークショップ/自分が取り組みたい地域課題とコーディネーション

【概要】 「地域に新たな人材を受け入れるには」をテーマにグループワーク。結果を模造紙で発表。前回からの宿題を受講生がそれぞれ発表&講評。最後に講座修了証が授与されました。

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金） 団体の活動紹介（放課後 Labo）

■団体名 放課後 Labo



■団体紹介

「放課後 Labo」は、2023 年 3 月に設立された団体です。主に小学校高学年から高校生を対象とし、柏の葉キャンパスエリアを中心とした「居場所づくり」と、学生たちへの社会体験という「機会提供」を目的に活動を開始しています。

■活動紹介（ポートコーナー 所）

現在の主な活動としては、柏ビレジのお祭りやイベントへの学生ボランティア派遣があります。多くの地域団体では運営メンバーの高齢化が進んでおり、イベントの準備や運営に苦慮しています。例えば、お祭りで長年バルーンアートを提供していた方が高齢で引退を考えているといった「後継者不足」の問題に対し、学生がその技術や役割を引き継がないかといった相談も行われています。



団体の活動は順調に拡大していますが、だからこそ次の課題が見えてきました。補助金頼みの運営からの脱却と、自走できる組織体制の構築です。「たまご補助金」終了後を見据え、「柏・愛らぶ基金」への申請やスポンサー探しなど、資金調達の方法を積極的に探っているところです。

仕事をする上で、勉強ができること以上に「多様な背景を持つ人々と交流し、協力して物事を進める力」が重要であると痛感したと言う団体代表自身の経験から、若いうちから学校の先生や親以外の「多様な大人」と関わる機会を作りたいと団体を設立しました。

その思いが実り、若者と地域が豊かになる、柏の未来が実現する日が楽しみです。

たまご補助金団体の今後の活動を注目してください！

柏市民公益活動育成補助金（たまご補助金）を活用して、令和 7 年度は、設立間もない下記の 6 つの市民公益活動団体が活動を行ってきました。

ニュースレターでは、各団体の活動状況を順次お伝えしてきましたが、今回が最終回となります。新しい仲間たちの今後の活動に注目してください。

- ・風早南部かるたプロジェクトチーム（ニュースレターNo.37 で紹介）
- ・かしわ動物福祉・共生協会（ニュースレターNo.38 で紹介）
- ・青森ねぶた祭文化振興会（ニュースレターNo.38 で紹介）
- ・NPO 法人ジセダイ歴史文化継承研究所（ニュースレターNo.39 で紹介）
- ・A&L 倶楽部（ニュースレターNo.39 で紹介）
- ・放課後 Labo（ニュースレターNo.40 で紹介）

令和7年度 常磐線沿線地区市民活動センター等交流会

本交流会は、常磐線沿線地区の市民活動センター等が一堂に会して情報交換し、お互いのノウハウを学び合い、スタッフ同士の親睦を図る目的で、平成29年度から毎年開催しています。

9回目を迎えた今年度は、柏市が幹事市となって、2月25日（水）（14時～16時30分）にパレット柏で開催されました。

■参加団体（7団体、17人）

龍ヶ崎市市民活動センター（指定管理）、守谷市民活動支援センター（委託事業）、流山市民活動推進センター（委託事業）、阿見町町民活動センター（公営）、まつど市民活動サポートセンター（指定管理）、つくば市民センター（公営）、柏市民活動サポートコーナー（公営）

■プログラム

- ① 開会挨拶～参加者の自己紹介
- ② 各市町の今年度の活動と「イチ推し企画」の紹介
- ③ センター等の活性化に向けた意見交換 他

■各センターの「イチ推し企画」の紹介

【龍ヶ崎】若い世代を巻き込む「龍ヶ崎みらい会議」を3年前から企画。テーマは、インスタ活用、若者参加、子育て、農業など

【守谷市】ボランティア経験を将来の地域愛につなげる、「葉っぱの不思議な力 桜餅、柏餅を作ろう」といった小学生向け企画を実施

【流山市】人材を育成する「地域づくりコーディネーター養成講座」や、団体間の新たな交流を生む「ながれやま交流会」を開催

【阿見町】情報発信の強化に向けて、SNSの使い方が分からない高齢者向きに、高校生の協力を得てインスタ講座を実施

【松戸市】現役世代からシニア層向けの半年間の人材育成講座「まつど地域活躍塾」を開催。卒業生が地域の居場所づくりを始めるなどの成果が出ている。

【つくば市】Facebookページ「つくば市民活動の広場」を毎日更新し、市民団体の活動を取材・発信。団体のモチベーション向上にも繋がっている。

【柏市】「学び」「交流」「支援」の3分野で事業を展開し、今年度から市民活動をコーディネートする人材を育成する「市民活動コーディネーター講座」を実施

■意見交換のテーマと主な意見

【テーマ①】講座の企画

- ・生成AIやSNSなど流行・関心の高いテーマの講座は集客しやすい。
- ・若年・子育て世代の市民活動への参加を促し、地域への愛着を醸成する講座が求められている。

【テーマ②】情報発信

- ・SNS等による情報発信が不可欠であり、これが苦手な高齢者のスキルアップが求められている。
- ・高校生など若者が高齢者を指導することにより、若者の社会参加や世代間交流が図られる。

【テーマ③】センター職員

- ・センター等における常勤職員の確保は給与水準の制約でなかなか難しい。
- ・人材確保・持続可能な雇用のため、民間委託や柔軟な雇用枠の検討が有効である。

■総括

- ・各センターとも、地域課題の変化や社会的ニーズに対応して、様々な新しい取組みを展開しており、他市町の事例に学ぶことは有効であると思われます。
- ・今年度で9回目を迎えた本交流会は、その「学びの場」として有効であり、今後も継続して開催していくことが期待されます。（※10回目の来年度の幹事市は守谷市さんの予定です。）



お知らせ

サポートコーナーからのお知らせ

柏市民活動フェスタ 2026 (5/17) へようこそ!

毎年恒例の市民活動団体の見本市「柏市民活動フェスタ 2026」は、今年も5月17日(日)に開催されます。お友達やご家族を誘ってご来場ください。

■日時 2026年5月17日(日) 屋外：10時～16時、16時35分
屋内：9時30分～17時30分

■会場 柏駅東口ダブルデッキ、ファミリかしわ前広場
柏駅前通り商店街ハウディモール、パレット柏

■参加団体 79団体



市民活動講座・協働まちづくりサロンのご案内 (4月～6月)

《市民活動講座》

6月24日(水) (仮) ICT講座 (AIの活用)

《協働まちづくりサロン》

※第1回は7月に開催予定



まち match づくりステーション (4月～6月)

3月16日(月)～4月11日(土) 本と花の広場

4月12日(日)～5月17日(日) 柏市民活動フェスタ

5月18日(月)～6月2日(火) 柏市消費生活センター

・上記以外は未定です。団体活動の紹介や団体同士の交流・連携などに積極的にご利用ください。

・申込：パレット柏 総合受付まで ☎04-7157-0280

《新しいスタッフの紹介》 末永 董 (すえなが すみれ)

1月より着任しました。地域おこし協力隊(島根県)の経験を生かして、皆さんのお役に立てるように精進して参りますので、よろしくお願い致します。



～編集後記～

柏市民活動センター(現・市民活動サポートコーナー)が開設されて今年で20年。本センターを拠点として、柏市の市民活動が年々盛んになっていくことは喜ばしい限りです。

本誌7頁で紹介した近隣他市のセンター等も、地域課題の変化や社会的ニーズに対応して、市民活動の活性化に向けた新しい取組みを展開しています。

柏市民活動サポートコーナーも、皆様のニーズに対応しつつ市民活動をサポートして参りますので、今年度も一緒に柏の市民活動を盛り上げていきましょう! (編集：及川愛二)

柏市民活動ニュースレター 第40号 2026年3月発行

発行者 柏市市民活動支援課 市民活動サポートコーナー

電話 04-7163-1143 FAX 04-7163-1147

メール shiminkatsudo-c@city.kashiwa.chiba.jp

